

**合格者からの
メッセージ**

私のプレミアムテキスト活用法

[小林 勝哉さん]

■私のプレミアムテキスト活用法

<見出し編>

プレミアムテキストは、世界で一つだけの自分専用のテキストとして直前期までに作りあげるものと考えて取り組みました。情報の一元化とともに、見出しの作り方が重要です。上から順に、章や単元別のインデックスですが、3つ貼ったらまた上から3つ貼ります。貼っていない部分を残すことで、高速でテキストのページをめくることができます。章や単元別のインデックスに重ねて貼ってある大付箋は、7月のテキスト総読み直し復習の時に、超直前期の1週間前に読み返すべきページをマークしたものです。

続いて、ピンクの付箋は過去問の2回目に間違った論点や佐藤塾の答案練習や模試で間違った論点です。また、青の付箋は他社の模試などで間違った論点です。下から2段目ですが、黄色の透明付箋は選択の重要な論点となる条文のページで、緑色の透明付箋は法改正の条文のページです。

WPと書いた付箋10年分過去問で間違いの多かったキークポイントの条文のページです。最後に一番下は、テキストの中の便利な一覧まとめの箇所の簡易インデックスです。何度も読み直し、一緒に成長の軌跡を刻んでくれるテキストがこれですぐに開けます。



<書き込み編>

LIVE講義やWeb講義の時は、ペンやマーカーは使わずに必ず鉛筆で書き込むに留めます。講義中に先生が指摘する条文のキーワードも、鉛筆でマルをするに留めます。唯一例外は、選択で過去に問われた条文のキーワードを説明した場合だけ、ピンクのマーカーで穴埋め対策としてマークします。基本的に、講義中にはマーカーで色づけは行いませんが、法改正の箇所のタイトルは、緑でマーキングしておくことで復習時や法改正講義の後の知識の振り分けに役立ちます。

次に、条文や解説の縦のオレンジ色のマーカーは、過去問で一度でも選択で出題された実績のある重要な論点です。このオレンジの条文の周辺は、重要な論点として選択式で出

題される確率がきわめて高い、重要な学習テーマを明示しています。

条文や解説の中で、キーワードを囲って線が引いてある箇所は、選択の論点となったキーワードです。また、条文や解説のキーワードをピンクで塗ったり、囲った線引きをピンクで下部を塗り足したりしたキーワードは、選択で論点となったか論点となる可能性のあるキーワードです。

赤のボールペンで下線を引いた箇所は、10年分過去問や答案練習で間違った論点です。また、青のボールペンで下線を引いた箇所は、他社の模試などで間違った論点です。どの答案練習でまちがったかは、鉛筆で付記しておきます。



**合格者からの
メッセージ**

夫婦揃って佐藤塾で合格！

[島谷一城さん・恵理さんご夫妻]

<最後に>

佐藤としみ先生の講義の声は、いまでも頭の中で鮮やかに蘇ってきます。わかりやすいゴロも随所に紹介してくださり、記憶に長く留まる素晴らしい講義でした。佐藤塾のプレミアムテキストは、条文、通達、判例、ポイント解説が、重要度に応じて大きさや構成を工夫して編集されていて、読み込めば読み込むほど味がでできます。合格後も、実務で自信をもってお客様に対応できる辞書として、最新のプレミアムテキストと法改正講義は欠かせません。

また、合格への転機となったのは、忘れもない2019年3月、右田先生の学習法相談の面談での一言でした。「いまの学習時間では絶対に合格できない！」合格には、倍の学習時間が必要だ！」と厳しくも具体的にアドバイスいただき、それまで月50時間未満の状態から、4月以降は月60時間から100時間に挑戦し朝も昼も夜もいつも勉強していた気がします。佐藤塾に出会うことができて、幸せでした。みなさんもぜひチャレンジして合格を勝ち取ってください。



小林 勝哉さん

■夫婦揃って佐藤塾で合格！

<島谷 恵理さん（妻）>

私は1、2年目は市販のテキストを用いて独学で勉強し、択一試験は初年度から50点以上でしたが、選択式試験で2年とも科目的基準点に達せず不合格でした。市販のテキストに全く掲載されていない内容から出題されてしまう選択式対策について悩んでいて、何気なく佐藤塾の本試験解答解説動画を観ていたら、あと1点届かなかった選択式の労災で出題された「休業給付基礎日額の年齢階層別の最低限度額及び最高限度額の適用基準」についての問題の解答がプレミアムテキストには条文ベースで載っていたと知り、3年目はプレミアムテキストを使って勉強してみたい！と強く思ったのが佐藤塾との出会いでした。

佐藤塾ではレクチャーパック、改正法、白書、模試を受講しました。講義はわかりやすく理解も深まり、また独学では学べなかつた内容に関しては非常に興味深く、楽しんで聴いていました。本試験の選択式試験ではプレミアムテキストや模試に掲載されていた内容から出題されたので、今までのようく勘ではなく、自分の知識で確実に基準点を取ることができました。結果は択一式55点、選択式37点（全科目4点以上！）で合格できました。

<島谷 一城さん（夫）>

妻が佐藤塾で勉強しているのを横で見ていて、社労士に興味が湧きました。初年度に佐藤塾のフルパックを受講し、佐藤塾で学んだ知識と理解をベースに直前期の講座や模試等を受講。毎年選択式試験の基準点はクリアするも択一式の合計点が足りず不合格が続き、5年目で合格しました。佐藤塾のテキスト、講義、答練等の教材は他の大手予備校と比較しても理解しやすく、また勉強していく一番楽しいものでした。初年度に佐藤塾で勉強していなければ、試験勉強がつまらなくなり、合格までたどりつけなかったと思います。

佐藤先生の講義はその条文が作られた理由や背景までも説明して頂き、記憶も理解もしやすかったです。また、丁寧な過去問の論点の説明により、過去問を解き直した時にすぐに論点が頭に浮かぶようになりました。ただ出題可能性があることを全て網羅していますのでボリュームがあり、直前期に復習すべき重要なことを自分で絞っていくことが大切だと思います。4年目までは、選択で細かいところから出題されたそれだけで不合格になると思い、直前期に細かい事項や法改正、白書に重点を置いて復習をしていました。その結果、択一試験の合計点が足りませんでした。5回目は考え方を180度変えて、直前期に細かい事項や法改正や白書は少なめにして、テキストや過去問で基本的なことを試験日の前日まで何度も何度も繰返し総復習して、完璧な理解と暗記に努めました。

その結果、5回目は択一式で49点取れ、選択式は社一のみ2点で救済となり合格できました。

合格して改めて思ったことは、佐藤塾の教材は合格に必要なことは全て揃っており、合格する方が理解している基本的な事項を漏れなく習得できることです。佐藤塾で教えて頂いたことがベースになれば、合格できなかつたと思います。

結論として、佐藤塾の講座は択一式に苦戦していた私と選択式に苦戦していた妻を、夫婦そろって合格に結びつけてくれました。



島谷一城さん、恵理さんご家族